

生成AIで暮らしを支える

樫本 明・3年・現日、 浦田 萌杏・2年・現日、 大峪 悠・2年・現日、 木内 咲希・2年・現日、
中嶋 優羽・2年・現日、 村田 愛花・2年・コミュ、 澤森 楓・2年・コミュ、 谷口 紗耶・2年・コミュ、
勝谷 華奈・1年・現日、 増田 菜々・1年・現日、 若林 達彦・1年・現日、 東谷優大・1年・教育

活動概要

生成AIを活用し、地域住民に役立つ生活情報を必要とする人に届く形で発信するCLL活動です。

学生は三重県内の福祉専門職3団体（三重県社会福祉士会、三重県精神保健福祉士協会、三重県医療ソーシャルワーカー協会）と協働し、情報発信・取材／編集・AIリテラシーを学びながら、福祉を身近に伝えるコンテンツづくりに挑みます。

成果

キックオフ後に拠点整備を行い、学内で生成AIの基礎理解と演習を進めました。学外では伊勢まつりにおいて、来場者に届く形を意識しつつAIラジオ番組の試作およびGeminiを用いた絵本作成に取り組みました。12月には、本活動実施主体である福祉専門職3団体が主催する「2025ソーシャルワーカーデーinみえ」に参加し、多くの現役ソーシャルワーカーから現場の声を直接伺う機会を得ました。なかには本学で社会福祉士資格を取得した先輩もあり、学生にとって将来像を具体的に描く手がかりとなりました。

年末にはNotebookLM・OpenAI.fm・castmake等を用いた音声コンテンツ制作を試みました。各ツールの操作方法を学ぶとともに、生成AIの特性（得意・不得意、確からしさの点検の必要性）への理解を深め、表現の選択肢を広げました。

年間活動記録

- 7月：学内活動：キックオフミーティング、拠点整備
- 10月：学外活動：伊勢まつりでのAIラジオ番組作成／Geminiを使用した絵本作成
- 11月：学内活動：生成AIの概要に関するレクチャー、演習
- 12月：学外活動：協力団体主催「2025ソーシャルワーカーデーinみえ」参加
学内活動：NotebookLM、OpenAI.fm、castmakeを用いた音声コンテンツ作成（試作）

課題と今後の展望

本活動の初年度であったため、活動の進め方そのものを手探りで組み立てる場面が多く、企画から制作までに想定以上の時間を要しました。また、生成AIスキルの身につけ方についても、説明を聞いただけでは定着しにくく、実際の操作を重ねることで少しずつ習得していく必要がありました。あわせて、情報発信は“つくること”にとどまらず、“誰に何をどう伝えるか”が要であり、伝える相手に応じてツールや表現方法を工夫する必要があることを学びました。

